

講義科目 : 心理学基礎実験	単位数 : 2
担 当 : 高橋 彩	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

心理学の重要な研究方法の1つに、実験法がある。この演習では心理学実験の手法とその分析方法を学ぶ。

到達目標

- ①データ収集、データの分析、レポートの作成を通して、レポート作成に必要な態度とスキルを身につける。
- ②心理学の実験を通して、科学としての心理学についての理解を深める。

授業計画

- 第1回 実験法とは何か レポートの書き方
- 第2回 ミュラー・リヤーの錯視（データ収集、レポート作成）
- 第3回 ストループ効果（データ収集、レポート作成）
- 第4回 記憶の二重貯蔵モデル（刺激作成とデータ収集）
- 第5回 記憶の二重貯蔵モデル（レポート作成）
- 第6回 集団意思決定（集団討議、レポート作成）
- 第7回 大きさの恒常性（データ収集、レポート作成）
- 第8回 鏡像描写（データ収集）
- 第9回 鏡像描写（レポート作成）
- 第10回 パーソナルスペース（データ収集、レポート作成）
- 第11回 視覚探索（データ収集）
- 第12回 視覚探索（レポート作成）
- 第13回 SD法による印象の測定（刺激作成、データ収集、レポート作成）
- 第14回 YG性格検査の実施
- 第15回 実験法による論文紹介

教材・テキスト・参考文献等

テキストは使用しない。課題ごとに資料を配布する。

成績評価方法

授業内の課題の取り組み（50％）と、レポートの内容（50％）によって評価する。演習はグループで行うものが多いため、遅刻・欠席は厳禁。定期試験は行わない。